

入社式

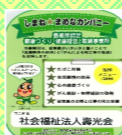


令和五年度 スタート



壽光会だより

〒699-0811
出雲市湖陵町
差海 318-1
tel 0853-43-8955
fax 0853-43-0995



湖水苑 施設長 遠藤洋平

日頃より特別養護老人ホーム湖水苑の運営に関し、ご厚情をいただき、誠にありがとうございます。

近年続く新型コロナウイルス感染症の影響で、令和四年度も感染症予防の観点から面会制限などをかけさせて頂き、入居者様、ご家族様、地域の皆様にご不便をおかけして心苦しい限りでした。令和五年五月八日に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけとして五類に変更される事が決定しましたが、高齢者福祉施設での新型コロナウイルス感染症対策はまだまだだ続いていくものと思われまます。昨年度は感染症対策をとる中でも、少しでも面会の機会を設けようと面会ブースの設置や、オンラインでの面会対応、ガラス越し面会など、入居者様に喜んで頂く機会を増やそうと工夫を考えてきました。五類後の制限などは現在検討中ではありますが、コロナ前に出来ていたことを少しずつ増やして行きたいと考えております。

令和五年度も職員一丸となって皆様により良いサービスを提供し、地域の皆様から信頼される施設作りを行っていく所存です。引き続き、皆様のご指導・鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

たいしや保育園 園長 石川佳照

令和五年五月八日より、新型コロナウイルスの感染症分類が二類から五類に引き下げられる予定です。そのことに伴い、コロナ禍で様々な活動が制限されてきた保育園での活動も大幅に見直しを図る予定です。

コロナ禍では、感染リスクが高い高齢者との交流がほとんどできませんでした。幼児期の多感な時期に、祖父母以外の高齢者との関わりがこの三年間持てない状況はとても残念なことでもありました。祖父母会との交流、大社町内にある高齢者施設や同一法人内の高齢者施設での交流、地区の三世代交流運動会などの再開が今からとても待ち遠しいものです。また、現在では保育者とマスク越しでの会話も、言語獲得時期にマスクで表情が見えないことによる弊害も懸念されています。マスクの無い日常生活が、間もなく戻ってきます。

私たち保育者は、コロナ禍を通して、「保育園は社会にとってなくてはならない存在」として再認識しました。今後も強い使命を持ち、感染リスクを最小限に抑えながら、創意工夫をし子どもたちの成長を支援していく所存です。引き続き変わらぬご支援・ご指導をよろしくお願ひします。

計報

去る三月十六日に、理事長馬庭稔(享年八十一歳)が永眠致しました。

葬儀の際には、地域の方をはじめ関係各所の皆様方より、たくさんのお花や弔電など多くの「厚志をいただきました。誠にありがとうございます。」

平成十二年三月に設立した当法人の礎として、亡くなる直前まで初代理事長として先頭に立ち勤務してまいりました。建築家としての顔もあり、湖畔の立地をいかし、彩のあふくつろげる空間を意識しておりました。おかげで、園内にはたくさんのお花や木々が咲いております。『地域のために』が口ぐせでもありました。残された職員一同で、故人の遺志を引き継いでまいりたいと思っております。今後も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新入職員紹介

求める人物像

お年寄りや子どもが好きな方
笑顔が素敵な方
向上心が旺盛な方
何事にも前向きな方
お話が好きな方
聞き上手な方

この中のどれか1つでも当てはまれば
応募可能です
職員募集中



日野亜梨沙
たいしや保育園
栄養職員



竹下 彩可
特別養護老人ホーム湖水苑
介護職員



藤原 知恵
特別養護老人ホーム湖水苑
介護職員



永沼 柊斗
ヴィラ湖水苑
介護職員



小田萌海
本部総務課
事務職員



西村 浩美
本部総務課
事務職員



金築 文子
グループホーム湖水苑
介護職員



加藤 佑
特別養護老人ホーム湖水苑
介護職員



三谷ちあき
ヴィラ湖水苑
介護職員



本部総務課管理者 水岩田美穂



ヴィラ湖水苑管理者 遠藤味妃



事務長 長島律子



理事長 石川佳照

社会福祉法人壽光会 湖水苑本部

〒699-0811 出雲市湖陵町差海318番地1

TEL0853-43-8955 FAX0853-43-0995

ホームページ <http://jukokai.jp/>

*特別養護老人ホーム湖水苑 TEL43-8955
*グループホーム湖水苑 TEL43-0032

*ケアサポート相生 TEL24-7733
*サービス付き高齢者向け住宅ヴィラ湖水苑 TEL43-3950



ヴィラ湖水苑

節分 豆まき



2月3日に、『節分 豆まき』を行いました。今年も節分に鬼がやって来ました。少し恥ずかしい様子もありましたが、声を出しながら豆を投げて楽しんでおられました。入居者様の中には、自分のカメラや携帯で写真を撮って思い出作りをされている方もおられました。皆さんの元気な声を聞いて、豆を投げられても嬉しそうなお鬼さんでした。

グループホーム湖水苑

桜の花見



3月29日に、お花見をしました。日本における春の風物詩といえば、やはりお花見です。湖水苑の中庭の桜も満開になり、入居者様と一緒に花見をしました。神西湖畔に映える満開の桜に大満足のひと時でした。

ケアサポート相生

新年会



1月9日に、新年会を開催しました。職員が着物姿で登場し、抹茶をたてさせていただきました。その後、民謡の得意のご利用者様が素敵な歌声を披露して下さい、新年会を盛り上げて下さいました。福笑いや羽子板・書初めなど、お正月らしいレクリエーションで賑やかなお正月となりました。

外出ドライブ



3月7日に、佐田町窪田にある『吉栗の郷』にドライブ外出に出かけました。この日の朝礼で、職員が出勤途中に毎朝成長を見届けている、羊の赤ちゃんの話題で盛り上がりました。『可愛いだろうね』『羊なんか見たことないわ』と、皆様からの声。『では、天気もいいし行ってみますか』と、お出かけが決定します。そんな風に決まり出かける外出は、楽しさも倍増です。

特別養護老人ホーム湖水苑

避難訓練



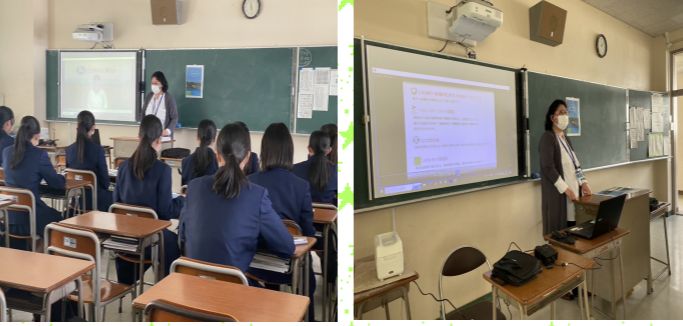
1月25日に、防災訓練を行いました。通報・消火・避難の総合訓練を苑内で行い、職員で緊張しながら訓練の流れを再確認しました。終了後には、声掛け・確認点検の反省点を話しあい、次回の防災訓練に生かしていきたいと思いました。

節分行事



2月3日に、C1・C2ユニットにおいて、節分行事を行いました。いつも参加されない入居者様も鬼のお面作りに参加して下さり、鬼のお面を手作りしました。個性的でいろんな鬼さんが完成しました。

出雲商業高校 地元企業地域ガイダンス



3月10日に、島根県立出雲商業高校において行われた地元企業地域ガイダンスに参加しました。たくさんの生徒さんが参加され、介護の他、保育の内容にも耳を傾けて下さいました。法人の事業内容・地域での役割・スキルアップの方法等、様々な説明をさせて頂きました。少しでも将来の就職の際に興味を持ってもらえたら大変嬉しく思います。

たいしゃ保育園

吉兆行事



1月20日に、ばんだ組・ぞう組が、吉兆行事を行いました。年長児の男の子が番内の衣装を身にまとい、女の子が太鼓でお囃子をたて、年中児が吉兆幡をひき、堂々とした姿勢で保育園周辺を歩きました。前原荒神社の前で、元氣よく「1月1日」を披露しました。太鼓を指導して頂いた馬場同志会の皆さま・衣装を貸して頂いた地域の皆様方のおかげもあり、地域の伝統行事にふれることができました。

大社幼稚園との交流会



2月13日に、ぞう組が大社幼稚園を訪れ、ばら組さんと交流会をしました。最初は緊張していましたがグループを作るゲームやドッジボールをして緊張がとけ、一緒に遊ぶことができました。その後は、一輪車・竹馬・ボルタリング・鉄棒・跳び箱などに様々に分かれ時間いっぱい交流をしました。2月20日には、幼稚園の子どもたちが保育園へ遊びに来てもらいました。

修了式



3月18日に、修了式を行いました。24名のこどもたちが、園生活で楽しかったこと、頑張ったこと、様々な思い出を振り返るとともに、小学校への夢、そしてたくさんの人への感謝の思いを式の中でもしっかりと伝えることができました。晴れ晴れとした笑顔に、心も体も大きく成長したことを誇らしく感じました。これからも職員一同、お子様と保護者の皆様の幸せを願っております。

SAFEコンソーシアムアワード 中国・四国・九州・沖縄ブロック賞



厚生労働省の主催による、職場において実施されている労働災害防止や安全・健康の増進のための取組を「見える化」することを目的とした表彰制度（『SAFE コンソーシアムアワード』）が、今回初めて実施されました。このたび法人の取組が高く評価され、【転倒災害防止部門】において、中国・四国・九州・沖縄ブロック賞を受賞しました。

